

ハレー彗星 (地学散歩(33))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-04-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 里村, 幹夫 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00008284">https://doi.org/10.14945/00008284</a>

# ハレー彗星

里村 幹夫\*・静岡大学地学研究会\*\*

ハレー彗星が 76 年ぶりに帰って来た。今回は、世界各国の研究機関が探査機をハレー彗星に向けて送り、ヨーロッパ宇宙機構が送った Giotto が、コマの中まで入って、核が長さ 15 km 以上、幅約 10 km のいびつな黒いものであることを発見する (Keller *et al.*, 1986) など、さまざまな成果が得られた。しかし、地上からの観測者にとっては、今回のハレー彗星は観測の条件が悪く、静岡県内からは肉眼ではほとんど見えなかった。おかげで、天体望遠鏡はたくさん売れたようだが、にわか天文ファンにとっては、ハレー彗星を捜すのがむずかしく、せっかく買った望遠鏡も役に立たなかった人も少なかつたろう。

素人ではなかなかハレー彗星が発見できなかったこともあって、彗星が見ごろとマスコミで宣伝された頃は、静岡大学教養部 C 棟屋上の望遠鏡ドーム周辺に、静岡大学の学生や教職員、その家族などを中心に近所の人たちが集まり、連日黒山の人だかりであった。地学研究会会員がその対応にあたったが、夜遅く観測するのに慣れているとはいえ、かなり大変な仕事であった。しかし、これをきっかけに天文に興味を深める人がどんどん増えてくれれば、苦勞のしがいがあったというものだ。

このような中で、見学者がまだあまり多くなかった、昨年 10 月 16 日から第 1 回目の接近の 11 月 27 日を経て 12 月 15 日までのハレー彗星の姿を、静岡大学教養部 C 棟屋上の 40 cm 反射望遠鏡を使って撮影したのが、写真 4 に示す 6 枚の組写真である。最後の 1 枚を除いて露光時間は約 10 分間で、彗星周辺の恒星の像が細長くなっているのは、その間に彗星が周りの恒星に対して動いたためである。11 月下旬には、彗星は 10 分間に 1 分角以上も動いており、近くに目印となる明るい恒星があった場合は、1 時間もすれば、彗星の位置が変わっているのが双眼鏡でもわかった。

2 月の学年末試験が終わると、地学研究会会員は、有志でニュージーランドや石垣島へのハレー彗星観望ツアーを組んで出かけたり、あるいは静岡で見学者への対応の合間をみてハレー彗星を撮影したりと、おそらくもう二度と見ることがないであろう彗星の姿を追いかける毎日であった。このようにして撮影したハレー彗星が写真 1～3 に示すカラー写真である。この青白い尾をもった彗星が、地球を含む惑星の形成について、あるいは生命誕生の謎について、大きな鍵を握っているのかもしれない。

## 参考文献

Keller, H. U., C. Arpigny, C. Barbieri, R. M. Bonnet, S. Cazes, M. Coradini, C. B. Cosmovici, W. A. Delamere, W. F. Huebner, D. W. Hughes, C. Jamar, D. Malaise, H. J. Reitsema, H. U. Schmidt, W. K. H. Schmidt, P. Seige, F. L. Whipple and K. Wilhelm, (1986), First Halley Multicolour Camera imaging results from Giotto. *Nature*, 321, 320-326.

\*静岡大学教養部地学教室 \*\*会長：杉山 享



↑写真2 朝霧高原からみた富士山南斜面上空の  
ハレー彗星 1986年3月13日 4時45分撮影  
固定15秒 50mm F1.4  
サクラカラーSR1600  
撮影者 今西浩太郎

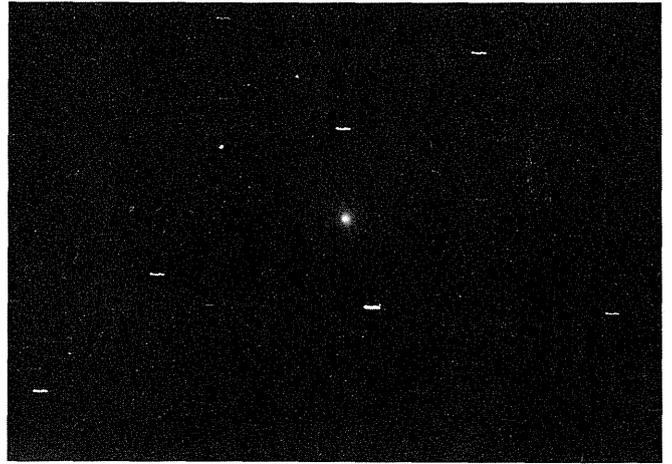
←写真1 ハレー彗星  
ニュージーランド・アレクサンドラにて1986年  
4月3日22時56分~23時01分(現地時間)撮影  
180mm F2.8 フジクロームP1600  
撮影者 杉山 享



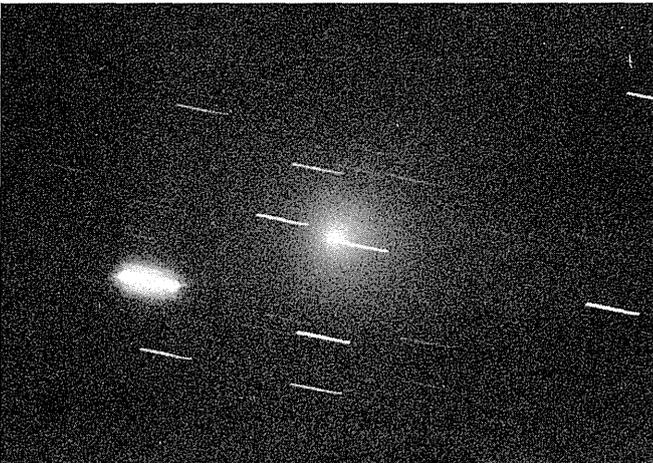
写真3 静岡大学教養部B棟上空のハレー彗星(画面中央)  
1986年3月13日 4時48分撮影 固定20秒 50mm F2.8  
サクラカラーSR1600 撮影者 楠本浩之



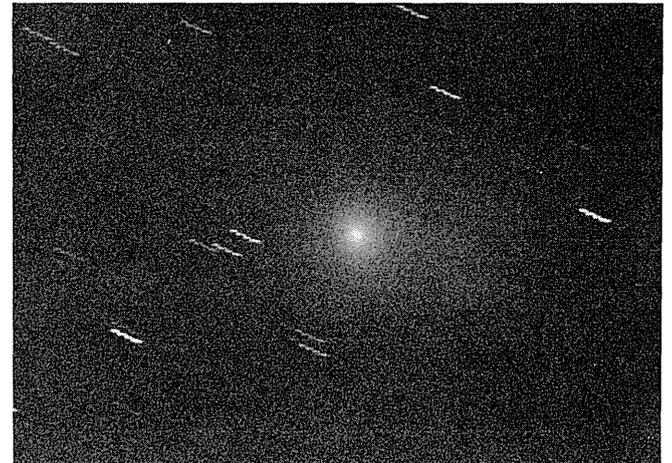
①1985年10月16日 1時40分～1時50分



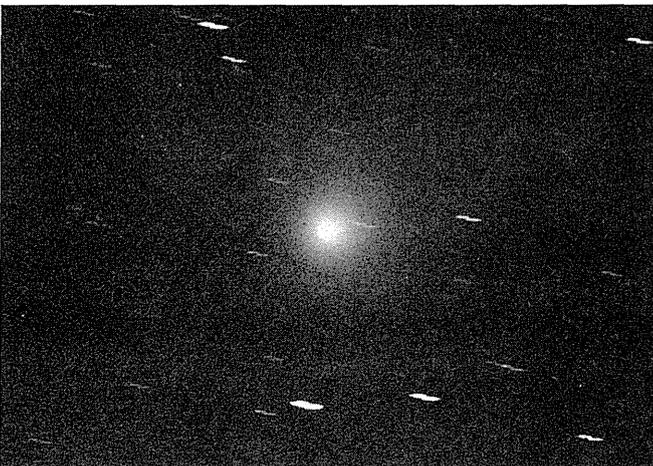
②1985年11月11日 1時13分～1時22分



③1985年11月20日 0時50分～1時05分



④1985年11月30日 18時12分～18時20分



⑤1985年12月 9日19時51分～20時01分



⑥1985年12月15日17時50分～17時51分

写真4 1985年10月～12月のハレー彗星

撮影地 静岡大学教養部C棟屋上

口径40cm 焦点距離2237mm 反射赤道儀直焦点 H<sub>2</sub>増感TP2415フィルム

撮影者 飯田省司